

平成 23 年 6 月 20 日
電源開発株式会社
伊藤忠商事株式会社

インドネシアにおける新規石炭火力IPP案件の優先交渉権獲得

～アジア最大規模、インドネシア初の高効率（超々臨界圧）石炭火力 IPP 事業～

電源開発株式会社(本社:東京都中央区、取締役社長:北村雅良、以下「Jパワー」)と伊藤忠商事株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:岡藤正弘、以下「伊藤忠商事」)は、インドネシア PT Adaro Energy Tbk. 社(以下「アダロ社」)と共同で、インドネシア共和国で本年4月に行われた新規石炭火力 IPP 国際入札案件の優先交渉権を獲得致しました。

本プロジェクトは、中部ジャワ州に合計出力 200 万 kW の石炭火力発電所を建設し、インドネシア国有電力会社(PLN)との間で25年間の長期売電契約(PPA)を締結するアジア最大規模の IPP 事業です。

本プロジェクトの特徴として、発電燃料にインドネシア国産の亜瀝青炭を活用し、環境負荷が少ない超々臨界圧(USC)技術を使った大型ボイラー(100万kW×2)をインドネシアにおいて初めて導入します。また、本プロジェクトは、日本政府の掲げる「パッケージ型インフラ海外展開」の取り組みにも沿ったものです。

インドネシアでは高い経済成長に基づく堅調な電力需要の伸びに対して発電容量増強が急がれており、Jパワー・伊藤忠商事・アダロ社の3社グループは環境負荷軽減技術や高効率石炭火力の運転実績、インドネシアでの経験を評価され優先交渉権獲得に至ったものです。

今後は、長期売電契約(PPA)を締結し、その後EPC契約、インドネシア政府からの許認可取得、融資銀行団との融資契約等の手続きを進め、平成29年2月の商業運転開始を目指します。

Jパワーは日本国内に約840万kWの石炭火力発電所を保有・運転する一方、海外での発電事業も積極的に手がけてまいりました。本プロジェクトは、これまでJパワーが長年にわたって培ってきた高効率石炭火力技術を活かしたプロジェクトであり、インドネシア最大・最新鋭の石炭火力発電所の建設・運転保守に総合的に取り組むことで、同国の電力安定供給と環境負荷低減、そして先進的技術の移転・普及に貢献することが期待でき、且つ、今後のアジアにおける高効率石炭火力展開のモデルとなりうるものと考えております。

伊藤忠商事は、中期経営計画「Brand-new Deal 2012」に於いて、長期安定収益が見込める IPP 事業を重点施策分野の一つと位置付けており、これまで着実に優良資産の積み上げを進めてきた北米に加え、今後は今回優先交渉権の獲得に至ったインドネシアを中心にアジア、欧州、中近東等に於いても、積極的に優良 IPP 資産の積み上げを進めて参ります。同時に、今回の高効率石炭火力をはじめ、風力・バイオマス・地熱等、環境により優しい発電プロジェクトを推進していきます。

以上

[添付資料]

1. インドネシア新規石炭火力IPP案件の概要
2. 発電所位置図